

## 海外自治体幹部交流協力セミナー2018（ニューヨーク事務所管内） 事業概要

地方交流事業テーマ： 岡山県の産業振興

海外参加者数： 9名

Kathleen Llewellyn-Thomas（キャスリーン ルエリントマス）
カナダ都市研究所 (CUI) 取締役会長
Michele Meade（ミシェル ミード）
ニュージャージー州 地方自治体サービス部門 財政管理者
Roy Charles Brooks（ロイ チャールズ ブルックス）
全米カウンティ協議会 (NACo) 前会長 / テキサス州 タラントカウンティコミッショナー
Michelle Crandall（ミシェル クランダー）
国際市・カウンティ支配人協会 (ICMA) / オハイオ州 ダブリン市 シティ・マネージャー補
Martha Brown（マーサー ブラウン）
全米都市連盟 (NLC) / ウィスコンシン州 ミルウォーキー市 都市開発部 副委員長
Jill Springate（ジル スプリングート）
州政府協議会 (CSG) スタッフ長
Alison Lawrence（アリソン ローレンス）
全米州議会議員連盟 (NCSL) プログラムディレクター
Angela Morgan（アンジェラ モルガン）
オンタリオ州自治体実務者協議会 (AMCTO) 会長
Laura Casey（ローラ ケーシー）
ミシガン州 ノバイ市 市議会議員

日程：

月日	内容
10/28(日)	○来日、オリエンテーション
10/29(月)	【東京セミナー】 ○講義：日本の地方自治（明治大学 木村俊介教授）、 東京都の産業振興施策等（東京都産業労働局ほか） ○視察：東京都庁舎 ○クレア主催歓迎レセプション
10/30(火)	【東京セミナー】 ○視察：江戸東京博物館、伝統工芸青山スクエア ○外務省職員との意見交換会 ○総務省総括審議官表敬、総務省職員との意見交換会
10/31(水)	【移動／岡山県における地方交流事業】 ○岡山県行政説明、岡山県知事表敬、岡山県主催歓迎レセプション
11/1(木)	【岡山県における地方交流事業】 ○視察：岡山県工業技術センター、ダイヤ工業(株)、ユアサシステム(株)、 吉備津神社

11/2(金)	【岡山県における地方交流事業】 ○視察：倉敷美観地区、(株)ジャパングルー、児島ジーンズストリート、瀬戸大橋
11/3(土・祝)	【岡山県における地方交流事業】 ○岡山国際交流センターでの日本文化体験（抹茶体験） ○視察：岡山後樂園 ○ホストファミリーとの対面
11/4(日)	【ホームステイ】
11/5(月)	【岡山県における地方交流事業／移動】 ○岡山県職員との意見交換会 ○クレア主催帰国前昼食会
11/6(火)	○帰国

## 【10月28日(日)】

参加者来日

## 【10月29日(月)】

### (1) 講義：日本の地方自治

クレア本部会議室にて、明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 木村俊介教授による講義を実施。質疑応答では、地方議会の女性参加率について質問し、資料をもとに日本では多くはないが緩やかに増えているという説明を受けた参加者から、アメリカでも同じだという意見があった。他にも三権分立（互いのチェック機能）についてなど、フライトや時差の疲れを感じさせないほど質問が相次いだ。



(地方自治講義での質疑応答)

### (2) 視察：東京都庁舎視察

観光ボランティアガイドの方に案内いただき、議事堂などを見学した。東京五輪PRコーナーでは法被を着て写真を撮って楽しんでた。また廊下に飾られた約150年前と現在の東京の写真の前では、その違いに驚き、ガイドの説明を熱心に聞いていた。ツアーの最後には地上45階の展望台に上り景色を楽しんだが、ここでも特徴的な建物を見つけては「あれは何？」と興味が尽きなかった。



(ガイドの説明に耳を傾ける参加者)

### (3) 講義：東京都の産業振興施策等

東京都庁にて、東京都産業労働局・政策企画局、(公財)東京都中小企業振興公社の職員による講義を実施。伝統と革新の調和を図るブランド戦略や、外国企業による東京進出及び日本の中小企業による海外展開のサポートなどについて説明を受けた。参加者からは具体的な成功例や予算、実際に障害となることなどについて質問があったほか、自国では性別や人種等により経営者の割合の低い立場の人を支援する政策があるとの参考意見もあった。



(都庁職員に質問する参加者)

### (4) クレア主催歓迎レセプション

グランドアーク半蔵門にて開催。参加者9名のほか、クレアから常務理事をはじめ9名が参加。

## 【 10月30日（火） 】

### （1）視察：江戸東京博物館

江戸時代の生活ぶりや現在の東京に至るまでの歴史などが学べる博物館を訪問。ボランティアガイドの説明を受けながら2班に分かれて見学した。

展示に加えガイドならではの説明もあり、参加者の満足度は高かった。初来日者が多いこともあり全てが珍しかったようで、ガイド終了後も出発時間まで自分で見学を続ける人も多かった。また、江戸時代について知ることで、その後の伝統工芸や岡山後楽園などの視察に向けた準備ができたようだった。



（ユーモアを交えたガイドを楽しむ）

### （2）視察：伝統工芸青山スクエア

（一財）伝統的工芸品産業振興協会の方より、当該産業の振興を図るための取組について説明を受けた後、全国各地の伝統的工芸品が一堂に集まる日本唯一のギャラリー&ショップ内を見学。

説明では伝統工芸士の試験内容や、伝統に新たな色彩等を取り入れることの可否についてなど、細かい質問も相次いだ。ギャラリーでは漆器の絵付け実演を見学したほか、工芸品の実物を見て触れることができ好評であった。



（漆器の絵付け実演を見学）

### （3）外務省職員との意見交換会

外務省にて地方連携推進室長より、地方連携推進室及び在外公館における取組について説明があり、その後意見交換を行った。

北米地域において、在外公館との連携により実現可能なことについての情報交換や、姉妹都市交流に関わる第三者のフレンドシップ組織を支援することの有用性について意見が交わされるなど、日本の省庁と北米自治体幹部等による貴重な交流機会となった。



（外務省職員との意見交換）

### （4）総務省表敬、総務省職員との意見交換会

総務省総括審議官を表敬訪問した後、会議室に移動して総務省若手職員との意見交換会を実施。

表敬では総括審議官より、国は違えど行政に携わり共通の課題に向き合う者同士による意見交換会への期待が表された。

意見交換会では労働力不足、医師不足や少子化対策など多岐に渡り意見が交わされた。若手職員との率直な議論は参加者にとっても刺激を受けるものになったようだった。



（総務省総括審議官を囲んで）

## 【 10月31日（水） 】

### （1）岡山県行政説明

岡山県庁内会議室にて、県職員より県の概要や産業振興についての説明を受けた。

質疑の時間には、北米の地方部でも地元の人材の県外流出問題を抱えているが岡山県では何か対策しているかという問いに対し、県外から学生を呼んで行う県内企業ツアーの紹介がなされ、参加者にとって参考になったようだった。このほか、電気自動車の促進、企業誘致での競合状況、豪雨災害後の復興計画や将来の災害対策についてなど、話題は多岐に及んだ。



（岡山県職員による行政説明）

### （2）岡山県知事表敬

岡山県知事より「セミナーを通じて岡山県への理解を深めていただき双方にとって有意義なものとなることを期待する。果物をはじめ美味しい食べ物が豊富な岡山を満喫してほしい。」と歓迎を受けた。

団長からは豪雨災害へのお見舞いと、「ビジネスオーナーや県職員と意見交換できることを楽しみにしている」と地方交流事業への意欲が示された。

歓談は知事のアメリカでの経験談も交えながら、和やかな雰囲気で行った。

表敬後は地元紙（山陽新聞）による取材があり、訪問団を代表して団長が対応した。



（岡山県知事を囲んで）

### （3）岡山県主催歓迎レセプション

ANAクラウンプラザホテル岡山にて、岡山県主催の歓迎レセプションが行われ、岡山県産の食材もふんだんに使った料理と歓談を楽しんだ。

県からは県民生活部長をはじめとする県職員のほか、県の国際交流員（CIR）、県内で活躍するアメリカ出身の外国語指導助手（ALT）も数名参加し、出身地が同じまたは近くの若者を見つけた参加者は嬉しそうだった。また、会話を通じて参加者は岡山や日本について少しずつ知識を深めた様子であった。



（歓迎レセプション後の記念撮影）

## 【11月1日（木）】

### （1）視察：岡山県工業技術センター

冒頭にセンターの職員よりセンターの歴史、業務や成果について説明を受けた。運営費用や職員数をはじめ、企業との連携方法、環境への配慮、知的財産についてなど、次から次に質問が相次いだ。さらに研究成果例として実用化した化粧品を多くの参加者が気に入った様子で、それもまた関心を掻き立てたようだった。

その後、無響室、残響室、電波暗室など特殊な機器を見学しながら、それぞれの目的、素材、仕組みなどに興味津々だった。



（電波暗室を見学）

### （2）視察：ダイヤ工業株式会社

運動器のサポーターシステムメーカーであるダイヤ工業（株）を訪問。

会社概要説明の後、社内視察を行った。モーションキャプチャなどを用いた最新の計測機器が設置されているR&Dセンターでは、参加者も実際に、様々な動きの計測体験や、正しいウォーキングのチェックなどを行った。

比較的若い社員の多い職場環境や、独自の製品開発により人々の健康をサポートしている現場をみて感銘を受けた様子だった。



（最新計測機器を体験）

### （3）視察：ユアサシステム機器株式会社

耐久試験システムなどの設計から製造までを一貫して手掛けている機器メーカーのユアサシステム機器（株）を訪問。

会社概要や県との連携について説明を受けた後、工場内を視察した。質疑では県からの支援や大学との連携などについて熱心に聞いていたほか、試験機器をすることで他の産業を支えており素晴らしいといったコメントがあった。また、曲がるスマートフォンの登場がそう遠くないことに心躍らせていた。工場内では様々な耐久試験機器を目の前にして、その目的や、24時間稼働しているのか、など質問があちこちで飛び交っていた。



（応対してくださった社長・社員とともに）

### （4）視察：吉備津神社

古い歴史をもつ神社であり桃太郎のルーツでもある吉備津神社を訪問した。参加者は厳かな雰囲気や立派な建物に魅了されていた。また桃太郎のストーリーにも興味をもっていた。

境内では県職員に方法を教わりながらおみくじを引いたり参拝してみたりするなど、日本文化を体験することができ喜んでいました。

## 【11月2日（金）】

### （1）視察：倉敷美観地区散策

まず日本で最初の西洋美術中心の私立美術館である大原美術館を訪問し、冒頭で美術館について説明いただいた後、各自オーディオガイドで見学した。参加者は作品もさることながら、東京などの大都市でない場所に素晴らしいコレクションがあることに感銘を受けていた。

その後ボランティアガイドの案内で白壁の街並みを散策した。白壁の映える青空が広がるなか、参加者は夢中になって写真を撮ったり地元の店を覗いたりしており時間が足りないくらいであった。



（白壁の街並みを見学）

### （2）視察：株式会社ジャパンプルー、児島ジーンズストリート

桃太郎ジーンズなどを手掛けるジーンズ製造会社（株）ジャパンプルーを訪問。

会社概要のほか、繊維産業が盛んになった歴史や青色へのこだわりなどについて説明を受けた。

その後、実際にジーンズを作っている現場を見学。複数のパーツがオリジナルのミシンを用いた人の手によって縫い合わされており、参加者はその分担方法や1か月あたりの生産量などを尋ね、クオリティを重視した製造過程に興味を持っていた。

見学後は児島ジーンズストリートを訪問しショッピングを楽しんだ。



（株）ジャパンプルーの前で

### （3）瀬戸大橋眺望

本州と四国を結ぶ世界最大級の橋である瀬戸大橋を眺望できる展望台に、ちょうど夕焼けの綺麗な時間帯に訪問し、素晴らしい景色を眺めることができた。参加者からは始終「美しい」「感動した」という声が聞こえた。また、橋を電車と車が通ることにも興味を惹かれたようだった。



（瀬戸大橋を背景に記念撮影）

## 【11月3日（土・祝）】

### （1）日本文化体験（抹茶体験）

岡山国際交流センターにて、抹茶体験を行った。

茶室にてお点前を見ながらひととおりのお茶席を経験するだけでなく、終了後には全員が自ら茶筌をもってお茶を点ててみる体験も。思い出に残る貴重な体験となったようだった。なかには慣れない正座にも挑戦する参加者もあり、日本文化に触れたいという意気込みが感じられた。



（お茶を自ら点ててみる参加者）

### （2）視察：岡山後楽園

江戸時代を代表する大名庭園であり日本三名園の一つでもある岡山後楽園を訪問。

英語ガイドと一緒に歩きながら、歴史や亭舎などの説明を受け園内を堪能した。途中、園内の能舞台にて能楽も鑑賞した。最後には、そこからの眺めが最も美しくなるように庭園が作られ、藩主が後楽園を訪れた時の居間として使われた延養亭にて説明を受け、参加者は見える景色に感動していた。



（岡山後楽園にて記念撮影）

## 【11月4日（日）】

### （1）ホームステイ

3日の夕方から4日の夕方まで、参加者は8家庭に分かれてホームステイを体験した。

参加者全員、出発前は緊張を口にしていたが、集合先のホテルに戻るや否や競い合うように楽しかった思い出を語り始めた。セミナー終了時に最も印象に残ったことを尋ねると誰もが口を揃えてホームステイと答えるほどであり、日本の一般家庭を体験する、とても意味のある経験となった様子だった。

## 【11月5日（月）】

### （1）意見交換会

冒頭で参加者から岡山県でのプログラムにおいて印象に残ったことなどについて一人ずつ発言した後、意見交換を行った。

参加者からは、「カナダでは助成金等によって国と地方の連携を図っているがあまり生産的でないため、今回学んだことをモデルして持ち帰りたい」、「自治体が研究開発やマーケティングをサポートすることで、企業が自らの資源を活用して成長していく仕組みを作り、ひいては地元経済を活性化させていることが素晴らしい」などといった意見が寄せられた。なかには「北米にも市場を持っている日本の企業の振興に携わりたい」、「今後はアメリカにいても岡山のニュースをフォローする」といった前向きなコメントも。また、ほぼ全員ホームステイがハイライトだったと述べ、ホストファミリーの週末の用事に同行しリサイクルセンターを訪問したことが勉強になりとてもよかったと言う参加者もいた。

もっと見たかったことはあるかという県職員の質問に対して、「今の繁栄に繋がる戦後復興」、「バスの車窓から見える全てのものにガイドの価値がある」といった声が聞かれ、自治体にとっても外からの視点に気づくよい機会となったと思われる。



（発言する参加者（上）と県職員（下））



### （2）クレア主催帰国前昼食会

ANAクラウンプラザホテル岡山にて、クレア主催帰国前昼食会を開催。岡山県から国際課長ほか県職員数名、クレアから常務理事ほかスタッフ数名が参加し、岡山をはじめ日本での滞在について語り合いながら地方での最後の食事を楽しんだ。食事を囲みながら、日本での終身雇用制度や地方公務員のキャリアなどについての質問もあり、和気あいあいとした中で会話が弾んだ。また、振り返ってみると滞在中は全く雨が降らず、さすが「晴れの国おかやま」だという感想もたくさん聞かれ、岡山を満喫したことがうかがえた。



（岡山を離れる前に全員で）

## 【11月6日（火）】

参加者帰国